

日本保全学会 第17回学術講演会 学生セッション 応募要領

《 2021.7.6(火)~7.8(木) @WEB開催 》

1.はじめに

2009年の第6回学術講演会から毎回開催されている学生セッションは、今回で12回目を迎えることになりました。

本学生セッションは、学生と産業界(現場)との意見交換などの交流を通じて、学生の皆さんに「保全活動」に対する意識や意欲を高めて頂くことを大きな目的/特徴としており、多くの参加者やその関係者から学生セッションの価値や意義に対し、高く評価頂いております。

これから社会人となる学生の皆さんにとっては、自分たちの研究成

果が産業界の現場ニーズの視点からどのように評価されるのかということは、大きな関心事であるとともに不安材料でもあると思いますが、新しい気付きや刺激を受けることで、研究者や技術者として成長する場として大きなメリットがあるものと確信しております。

今回はWEB開催ということもあり対面での交流は出来ませんが、WEBの利点も生かした形で運用したいと考えておりますので、学生の皆さんの積極的な参加をお願い致します。

2.応募要領について

(1)学生セッションの概要

- 大学および大学院の学生を対象にしたセッションであり、発表を通じて学生の「保全活動」に対する意識や意欲の向上を狙っている。この視点から、口頭発表(オーラルセッション)に加えて、ポスターセッションを設けて発表内容についての審査員(産業界を代表する10名程度)とのコミュニケーション(質疑応答)の場を設けている。
- 審査は、オーラルセッション(発表+質疑応答)とポスターセッション(質疑応答)の2部構成となっており、両方の審査結果の総合点により表彰を行う。

●今回はWEB開催となっているため、発表や質疑応答などはすべてWebexを使ったリモート環境にて実施する。

●発表テーマ/対象は、原子力発電所等の保全活動への活用が考えられる技術であれば、原子力分野の研究に限らない。大学で取り組んでいる様々な研究テーマを「保全活動への活用」という視点で整理して発表して頂くことを期待している。

●応募者は、期日までに所定のフォームに必要事項を記載の上申し込みを行うとともに、発表者については、研究発表の概要(予稿)を別途期限までに提出頂きたい。

(2)応募方法/期限

日本保全学会 第17回学術講演会

ホームページ(URLは3月末)の申し込みフォーマットに記載して申し込んでください。

応募期限：2021年4月30日(金) ※必着

・なお、応募者数が多数で定員(12名)を超える場合には、先着順等にて締め切る場合があります。

・発表者は、別途5月12日(水曜)までに、発表の概要(予稿)を提出する必要があります。

3.発表/審査/表彰について

(1)発表/審査要領

オーラルセッション：学術講演会参加者は聴講可

- プレゼンテーション(10分) + 質疑応答(5分)
- 資料は、プレゼンテーション用の資料(②)のみ

ポスターセッション(審査用)：非公開※

※発表者と評価委員のみで実施、共同研究者と指導教官はオブザーバ参加とする予定

- 審査員との質疑応答 (15分)
- 資料は、①予稿+②プレゼンテーション資料+③補足説明資料(必要に応じて準備)を使用

・発表者の数や学術講演会全体のプログラムとの調整により、発表時間や質疑応答時間が増える可能性があります。その場合は事前に通知します。

・ポスターセッションについては、審査用の時間枠(15分程度/件)とは別に、一般参加者や他の学生との交流や意見交換のための時間枠(3~4時間程度/全体)を設ける予定です。(詳細は別途連絡)

(2)審査のポイント

オーラルセッションとポスターセッション(審査用)について、以下の視点から審査を行う。

①現状課題に対する理解：

ポスター オーラル

研究テーマの背景となっている現状課題に対する問題意識や課題解決に向けての研究の意義などが正しく理解できているか。

②研究内容：

オーラル ポスター

当該研究の目的/プロセス/成果を明確に提示出来ているかという視点に加えて、当該研究における発表者の役割や貢献度なども対象とする。

③プレゼンテーション：

オーラル

発表のわかり易さ、時間配分、質疑応答の的確さなど。

(3)表彰

- 審査は、オーラルセッションとポスターセッションの両方について行い、その総合点により表彰(最優秀賞、優秀賞、独創賞、プレゼンテーション賞など)を行う。

- 審査結果の発表/表彰は、閉会式(7月8日(木曜))に行う。

4.その他

その他詳細は、日本保全学会ホームページ(第17回学術講演会)にて案内予定。



日本保全学会